

通学路の安全確認アンケート

学年・組		番号		氏名		
住所					最寄り駅等	線駅

* 登下校の安全確認や防災意識に関するアンケートです。必要な項目については、家族と確認した上で を記入し提出してください。

1 通学方法のうち、該当するもの全ての番号を○で囲みなさい。

①電車 ②バス ③自転車 ④徒歩(20分以上) ⑤その他 ()

2 次の通学経路上に危険な場所があれば、()の中に場所名などを記入してください。

(1) 交通事故の多い所(交差点名)や混乱しやすい駅(駅名)がありますか?

①ない ②ある ()

(2) 集中豪雨などで水没しやすい道路や崩れそうな急斜面、大地震で倒壊の恐れのある高いブロック塀、看板や、液状化しやすい場所(場所名)がありますか?

①ない ②ある ()

(3) 繁華(飲食店)街や不審者の出没する所、また外灯の少ない寂しい所がありますか?

①ない ②ある ()

3 大地震や運休など交通遮断で帰宅困難になった場合について記入してください。

(1) 災害伝言ダイヤル『171』や『web171』『J-anpi安否情報』の使い方を知っていますか?

①知っている ②知らない → 家族と確認した

(2) 校内残留者は、保護者に連絡が取れるまで勝手に帰れないことを知っていますか?

→ その場合は、『災害時残留生徒カード』を提出することになります

①知っている ②知らない → 家族と確認した

(3) 校内残留者のうち、徒歩・自転車で1時間以内に帰宅可能な者は、許可を受けた上で帰宅できることを知っていますか?

①知っている ②知らない → 家族と確認した

(4) 途中駅などで、帰宅困難(足止め)になった場合、近くの学校や公共施設、大きなビルなどが一時(臨時)避難所になることを知っていますか?

①知っている ②知らない → 家族と確認した

(5) SNSの口コミなどのデマ情報に注意することや、〇〇市の公式ブログ、公式Twitterで正しい情報が得られることを知っていますか?

①知っている ②知らなかった ③携帯機器を持っていない

(6) 仮に徒歩で帰宅することになった場合、学校から自宅までのおよその距離と時間は?

①自宅まで約_____km、徒歩で約_____時間 ②徒歩では帰れない

(7) 帰宅途中に、親戚や友人宅など一時的に立ち寄れる家がありますか?

… わかる範囲で記入してください

①ない ②ある → 家族と確認した

・名前_____さん宅、Tel 又は住所_____

・名前_____さん宅、Tel 又は住所_____

* 帰宅困難の時に、一時避難できる小・中学校や公民館、親戚や友人宅などについて家族で必ず確認しましょう。

【参 考】 八千代高校危機対応マニュアルより抜粋

- **災害伝言ダイヤル（171）の使い方** ◀ 大規模な交通混乱の際に利用可能です

伝言の録音： 171 の後、「1」を押す。ガイダンスに従い、自宅や学校の電話の番号（携帯や I P 電話の番号は不可 → 「web171」を試す）を登録。通話は 30 秒以内。

録音 171-**1**-047-484-2551 ←(学校に連絡するとき)

再生 171-**2**-047-484-2551 ←(学校からの連絡を聞くと)

伝言を聞く： 171 の後「2」を押す。相手の固定電話番号を入力。伝言は 10 件まで、利用期限は 2 日間。再生は携帯電話からでも可能。

- 本校からの距離別中学校リスト

4km以内	勝田台、八千代、大和田、村上、村上東、阿蘇、高津、八千代台西、東高津、萱田、志津、上志津、西志津、井野、こてはし台、犢橋、花見川第一
～6km	睦、臼井西、臼井南、習志野第四、千代田、四街道西、四街道北、花見川第二、天戸、さつきが丘、緑が丘
～8km	臼井、習志野第二、習志野第六、三山、習志野台、坪井、七林、三田、高根台、古和釜、大穴、豊富、四街道、草野、山王、花園、朝日ヶ丘
～10km	南山、原山、佐倉、根郷、習志野第五、習志野第三、二宮、御滝、高根、八木が谷、前原、飯山満、芝山、小室、四街道旭、幕張、稲毛、千草台、みつわ台、幕張本郷、高州第一、幕張西、都賀、若松、稲浜、真砂

* 徒歩の速度は通常、時速4kmだが、混雑状況で時速0.4kmにも満たない場合がある。(中央防災会議) / 東日本大震災時の調査結果によると、平均歩行速度は38m/分(時速2.28km)であった。(国土交通省)

- **非常時**には、小中学校や集会所、公民館、役所などの公共施設が**一時避難先**となります。**帰宅困難**の時に立ち寄れる施設や親戚宅・友人宅を家族と必ず確認しておくこと。

* 非常時には、コンビニエンスストアやファミリーレストラン、ガソリンスタンドなどが、徒歩帰宅者のための「**災害時帰宅支援ステーション**」になり、近くの避難所を知ることができます。



- **校外学習などの場合**

① グループで混乱から離れ、安全を確保する。デマ情報や不審者、パニックを警戒する。学校や保護者に必ず連絡を入れる。

① **沿岸部**や河口近くにいる場合は、**津波被害を念頭**に近くの高台やマンションなどを確認し**避難経路を確認**しておく。警報等発令時は、直ちに避難！

*** 津波の緊急警報の際は、大声を掛け合いつつ確認した避難場所へ直ちに避難する。絶対に戻らないこと。**

② 非常時は、コンビニナート・工場地帯や危険物貯蔵施設、放射性物質保管所、工事現場などから離れる。

③ 地域の FM ラジオ、防災無線放送、〇〇市防災ブログ・公式 Twitter などの信頼できる情報により避難する。(注：LINE やロコミは、デマや悪意のある情報が混在する)

* 「津波てんでんこ」第1回全国沿岸市町村津波サミット(1990年)で紹介された防災教訓。「津波が来たら、取る物も取り敢えず、肉親にも構わずに、各自てんでんばらばらに一人で高台へと逃げろ」「自分の命は自分で守れ」である。事前に確認した避難行動を直ちに開始すること。2011年の東日本大震災では、釜石市市内の小中学生らが、地震の直後から教師の指示を待たずに避難を開始し全員無事だった(「釜石の奇跡」)。津波避難の9割近くが杞憂に終わっても、それは間違っていない。



【参考用 QR コード】

公式情報サイトの例 (QRコードの読み取りにはアプリが必要です。名称でも検索できます。)

千葉県防災ポータルサイト	web171	J-anpi 安否情報まとめて検索	八千代市防災ブログ	八千代市公式Twitter